

TL;DL? Microsoft 365 Copilot を使用して生成された AI 音声の要約 (英語) がお聞きいただけます。以下が日本語のトランスクリプトです。

トランスクリプト – 音声の要約：Microsoft Build 2025: AI エージェントの時代とオープンなエージェント型 Web の構築へ

こんにちは。今回は、Microsoft Build 2025 で発表された注目の最新技術について音声でご紹介します。今年のイベントのテーマは、AI エージェントの持つ変革力で、多数の未来のテクノロジーを形作る革新的なツールやプラットフォームを発表しました。

コード開発ツールの進化から、「オープンなエージェント型 Web」という新たなビジョンまで、盛りだくさんの内容です。それでは、詳しく見ていきましょう。

今年の Microsoft Build で最も注目されたのが、AI エージェントの進化です。推論力や記憶能力の飛躍的な向上により、AI は私たちの課題解決の方法そのものを大きく変えつつあります。

マイクロソフトは、こうした AI エージェントが個人、組織、そしてビジネスのあらゆる場面でシームレスに活躍する未来を描いています。この構想を私たちは「オープンなエージェント型 Web」と呼んでおり、AI がユーザーや企業の代わりにタスクをこなし、意思決定まで担うという新たな時代の到来を意味しています。この大胆なビジョンは、すでに 1,500 万人以上の開発者に利用されている GitHub Copilot や、Fortune 500 企業の 90% にあたる 23 万以上の組織による Copilot Studio の活用といった実績に裏打ちされています。

今回の発表の中でも特に注目を集めたのが、GitHub Copilot の進化です。これまでの「エディタ内アシスタント」から、より自律的に動く「AI パートナー」へと大きくステップアップしました。その一例が、GitHub プラットフォームに統合された「非同期コーディングエージェント」の導入です。これにより、開発者は自分のペースで作業を進めながら、AI の支援を受けられるようになります。さらに、「GitHub Copilot Chat」が Visual Studio Code でオープンソース化されたことも大きなニュースです。これは、オープンで協調的な AI 活用型ソフトウェア開発を推進するというマイクロソフトの姿勢を明確に示すものです。これらのアップデートは、開発者がより速く、より効率的に、そして自分の作業スタイルを崩すことなく開発を進められるようにすることを目的としています。

もうひとつの大きな注目ポイントは、「Windows AI Foundry」の発表です。この新しいプラットフォームは、AI のライフサイクル全体——トレーニングから本番環境への反映まで——を一貫して支える、統合された信頼性の高い開発環境を提供します。

視覚認識や自然言語処理といったタスク向けに、シンプルで使いやすい API が用意されており、オープンソースモデルと独自モデルの両方に対応しているのも特徴です。開発者にとって、AI 開発の複雑さを軽減し、よりスムーズにプロジェクトを進められる強力な基盤となることを期待しています。

同様に、「Azure AI Foundry」でも注目の新ツールを発表しました。そのひとつが「Model Leaderboard」です。これは、パフォーマンスの高い AI モデルをランキング形式で可視化するもので、最適なモデル選定をサポートします。さらに、「Model Router」というツールも登場しました。これは、特定のタスクに最適な AI モデルを自動的に選び出すための仕組みで、開発の効率化に大きく貢献します。これらのツールは、AI 開発における生産性とイノベーションをさらに高めることを目的としており、実践的かつ戦略的な価値を提供します。

開発ツールにとどまらず、マイクロソフトは企業が AI エージェントを安全かつ柔軟に構築・運用できるよう支援する取り組みも強化しています。

例えば、「Copilot Studio」では、複数の AI エージェントが連携してスキルを組み合わせ、複雑なタスクに対応できる「マルチエージェント・オーケストレーション」機能が導入されました。

また、「Microsoft 365 Copilot Tuning」では、顧客は自社のデータ、ワークフロー、業務プロセスを活用してニーズに合わせたドメイン特化型の AI エージェントを構築できるようになります。

さらに、「Azure AI Foundry Observability」によって、AI のパフォーマンス、品質、コスト、安全性といった指標を可視化できるようになり、信頼性の高い AI 導入が可能になります。

今後に向けて、マイクロソフトは AI エージェントの未来を支えるためのオープンスタンダードと共通インフラを強化にも注力しています。その一環として、「Model Context Protocol (MCP)」が、当社のエージェントプラットフォームおよびフレームワーク全体での統合をすすめており、AI エージェントの安全かつスケーラブルな導入を可能にします。さらに、「NLWeb」という新しい仕組みにより、ウェブサイトが会話型インターフェースを提供できるようになり、AI エージェントがウェブコンテンツにアクセスしやすくなる環境が整いつつあります。

そして最後に紹介したのが、「Microsoft Discovery」という科学研究向けの新プラットフォームです。エージェント型 AI の力を活用して、研究の発見プロセスそのものを変革し、イノベーションの加速を目指しています。

Microsoft Build 2025 では、AI エージェントが主役となる未来のビジョンが明確に示されました。開発者、企業、研究者それぞれのニーズに応えるツールやプラットフォームが発表され、GitHub Copilot の進化から Windows AI Foundry の登場、そしてオープンスタンダードの推進に至るまで、マイクロソフトの革新と協業への強いコミットメントが感じられる内容でした。今回の発表が、これからのテクノロジーの方向性について、少しでもヒントやインスピレーションを与えるものになれば幸いです。最後までお聞きいただき、ありがとうございました。